

令和6年度 大府市総合教育会議 会議要点録

日 時	令和6年10月11日（金）午前10時から午前10時58分まで
場 所	大府市役所 委員会室1
出席者	市長、教育長、西村教育長職務代理者、富田教育委員、種村教育委員、近藤教育委員
企画政策部	企画政策部長、企画広報戦略課長、企画政策係長
教育委員会	教育部長、主席指導主事、学校教育課長、指導主事（2）、学校総務係長、学校総務係主査
オブザーバー	新美副市長
公開の可否	一部非公開
傍聴者数	0人
議 題	協議・調整事項 総合的な長期欠席者支援（おおぶレインボープラン）の拡充について

開会

1 あいさつ

- 市長
- ・令和6年度から新たに松山教育長が就任された。また、10月からは種村委員が竹中委員に代わって新たに就任され、浅井委員が再任された。
 - ・長期欠席については、全国的な課題となっており、昨年度「おおぶレインボープラン」を策定し、7色の施策を推進しているが、検討すべき課題も残っており、最近では、小学校の長期欠席者数も増えてきている。
 - ・施策の即効性を出すのは難しいところだが、既存の事業の効果検証をしつつ、新たな支援についても考えていきたい。
 - ・中学校卒業後の情報連携、引きこもりの支援についても考えていきたい。
 - ・本日の協議事項について、忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。

- 教育長
- ・市長部局と教育委員会が十分な意思疎通を図って、教育のあるべき姿を共有して、民意を反映した教育行政の推進を図る場としたい。
 - ・自分の居場所がわからないといった長期欠席者が増えており、小学校の長期欠席者数が倍増に近い状態になっている。
 - ・人との関わりやコミュニケーションを苦手とするこどもが増えている。
 - ・現在でも数多くの手厚い支援が実施されているが、先を見越した幅広い支援を考えなければいけないと考えている。

2 協議・調整事項 総合的な長期欠席者支援（おおぶレインボープラン）の拡充について

学校総務 係長 《事務局から内容について説明》

- 教育長
- ・ご質問などお聞かせ願いたい。

- 富田委員
- ・長期欠席については、病欠を除いて年間 30 日以上欠席を指すと認識しているが、欠席日数については幅があるので、支援を考える上では、欠席状況をより明らかにするのが良いと考える。
 - ・啓発サポーターに棚園氏を任命することは良い施策だと感じた。
- 西村委員
- ・学校に行きづらいこどもが増えていることに驚いた。支援が充実していることには期待したい。
 - ・スクールソーシャルワーカーの相談件数の伸びに驚いており、増員の必要があると感じた。
 - ・こどもが安心して自分と向き合えるように応援することが大切だと感じた。
- 近藤委員
- ・先日開催された棚園氏の講演について、来場できなかった方のために、ネット配信等ができるとう良いと感じた。
 - ・日本福祉大学の野尻先生の講演の中で、「こどもは支援されると夢を持つようになる」との話があった。夢を持つことができないこどもがいることも実感しており、スクールソーシャルワーカーの増員が必要であると感じた。
- 富田委員
- ・小学校への校内教育支援室の設置とスクールソーシャルワーカーの増員については、予算の関係上、一度には難しいのかもしれないが、計画的に実現していただきたい。
 - ・市の施策はスピード感を持って実施できており、とても良いことであると感じている。
 - ・教育においては、スピード感と合わせて、現場のニーズも汲み取っていただきたい。
- 教育長
- ・校内教育支援室について、先駆的に実施している大東小学校の状況について、事務局からわかる範囲で教えていただきたい。
- 指導主事
- ・試験的に「ひだまり」という教室を作って、5名の児童が通っている。
 - ・中学校の校内教育支援室は、学習の補償としての側面が強いが、小学校の校内教育支援室は、こどもたちの居場所であることに重きを置いており、自分たちの好きなことを探求していくことができる場となっている。
- 西村委員
- ・校内教育支援室としての条件に合った空間が簡単に作れるものなのか。また、設置のスケジュール感について教えていただきたい。
- 学校教育課長
- ・予算にも関わるため、校内教育支援室の設置数は具体的には未定だが、人件費や教室の改修費等が必要となるとともに、有効な設置場所の選定も必要となるため、計画的に進めていきたいと考えている。
- 西村委員
- ・こどもたちの第2の居場所は必要だと感じるので、よく検討した上で、安心できる場所を設置していただきたい。

- 種村委員 ・大東小学校の「ひだまり」については、支援する職員は1名なのか、教えていただきたい。
- 指導主事 ・現状、支援員は配置していないため、教員等がローテーションで対応しているが、同じ職員が日々対応することが安心感に繋がると考えている。
- 種村委員 ・家族以外で心を開くことのできる人が待っている場所があるのであれば、心を育むことのできる場になると感じる。
- 市長 ・必要な事業に関しては、こどもたちのためにスピード感を持って実施していきたいと考えている。
- ・養護教諭について、1人配置校となっている中学校に対して、小学校と同様に市の経費で補助員を配置しても良いと考えている。
- ・既存の事業の効果検証や長期欠席の要因分析等を進めながら、支援を考えていきたい。